

27  
モ一七  
聖徒伝 53

# 「ただアーメンと 答えよう」

申命記25～27章

約束の地に刻むべき律法

申命記 7

## 【今日のアウトライン】

0. ふりかえり イン트로ダクション

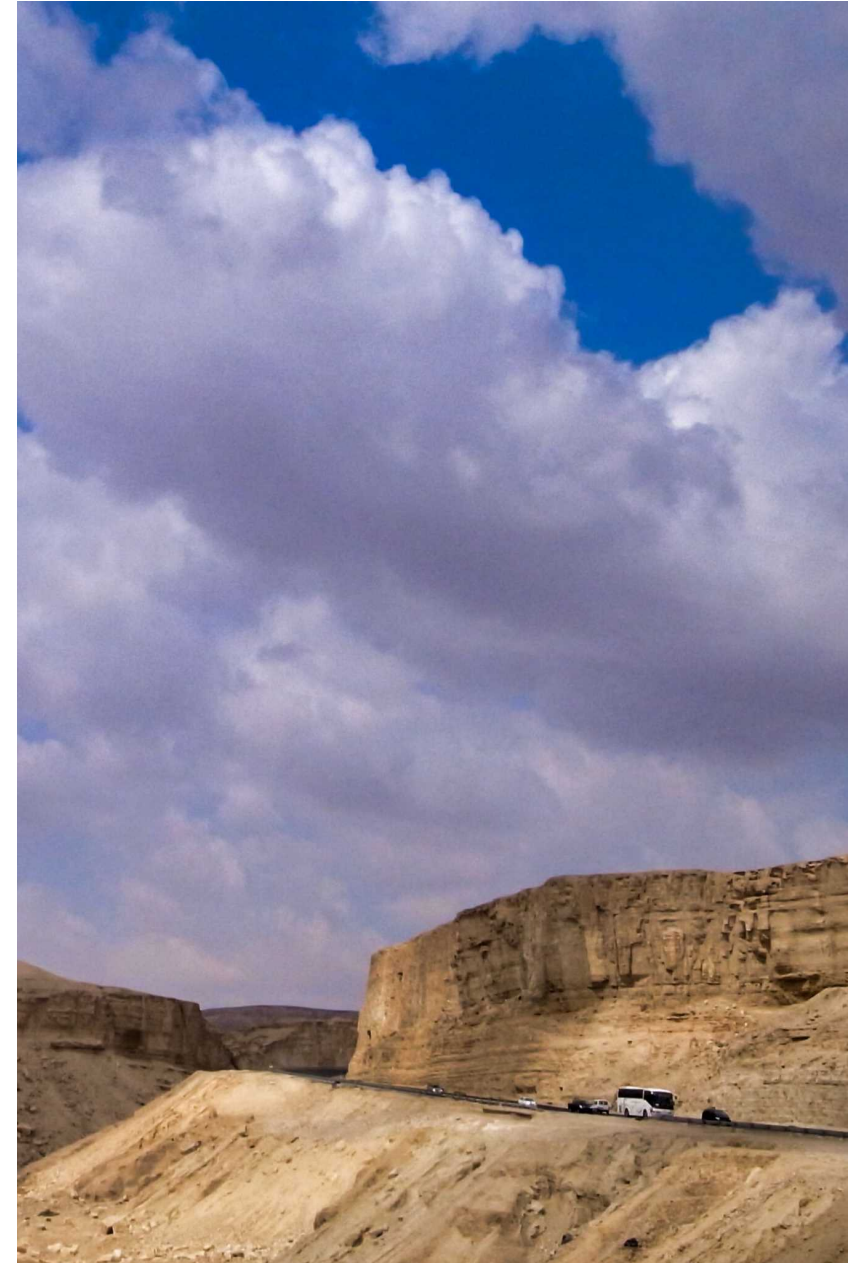
I. 義に基づく裁き 25章

II. 恵みの先取り 26章

III. 刻むべき命令と掟 27章

IV. まとめと適用

今日、主の約束を信頼して  
新たな一歩を踏み出そう





# 【アブラハム契約とは？】

聖書全体を貫く、大原則

神の世界回復と人類救済計画の柱

## 【三つの主な条項】

①子孫の約束

②土地の約束

③祝福(地上の諸民族の祝福)の約束

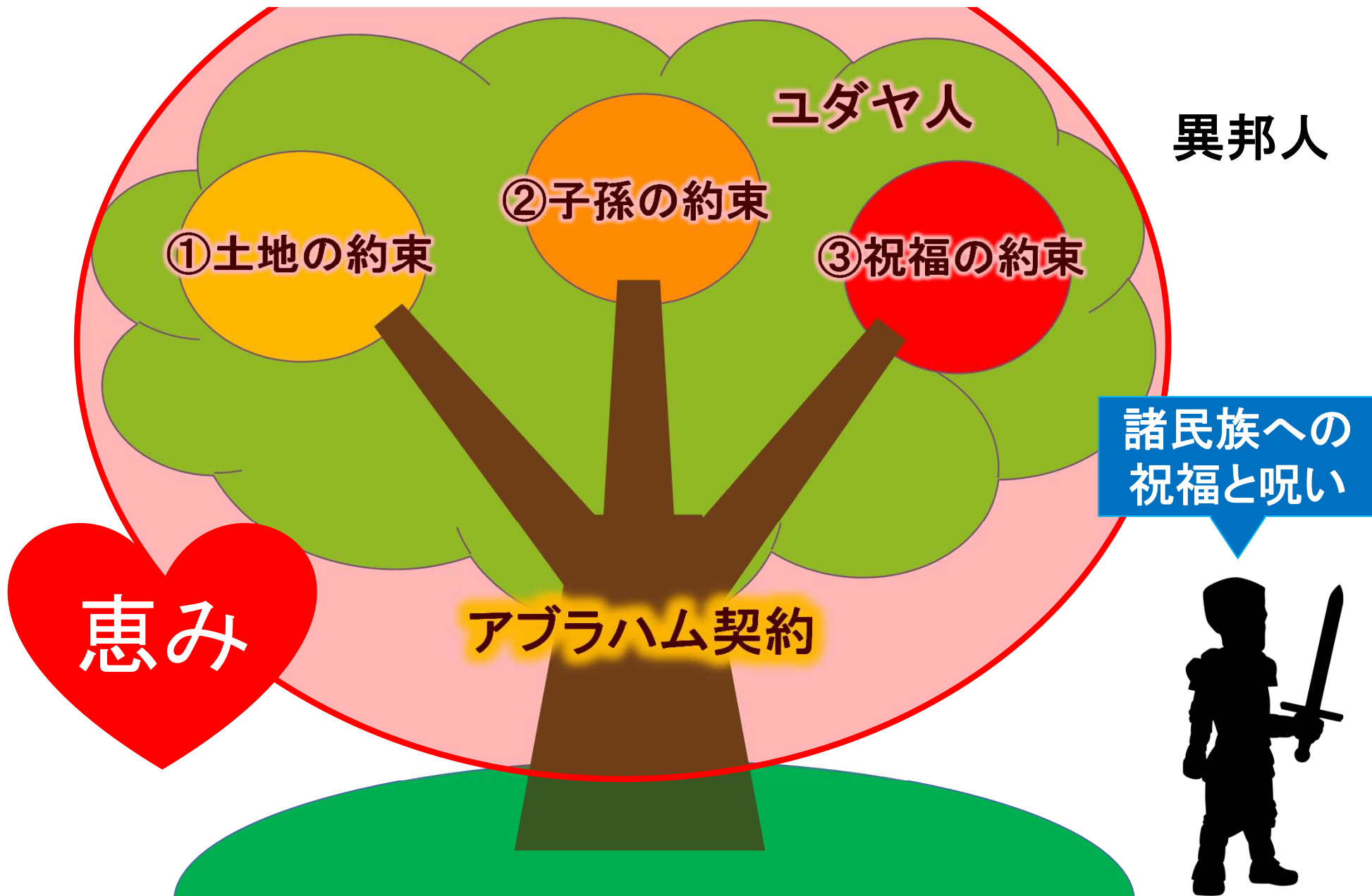
※付帯条項 ...祝福と呪い。イスラエルの生存保証。

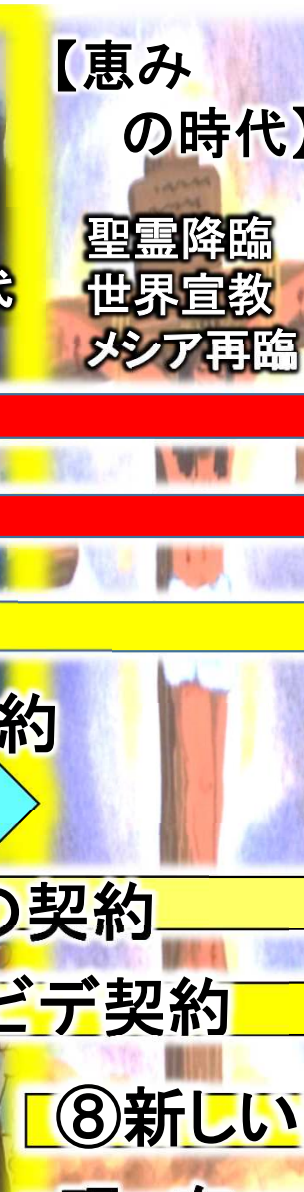
※しるし ...割礼

イスラエルを  
守り導く土台



【アブラハム契約】





【無垢の時代】

【良心の時代】

【人類統治の時代】

【約束の時代】

【律法の時代】

【恵みの時代】

【御国の時代】

天地創造

墮罪  
~大洪水

バベルの塔事件

アブラハム  
~ヤコブ

イスラエル  
王国時代  
メシア初臨

聖霊降臨  
世界宣教  
メシア再臨

千年王国  
大審判  
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

⑧新しい契約

神の約束が、人類と世界の歴史を導く!!

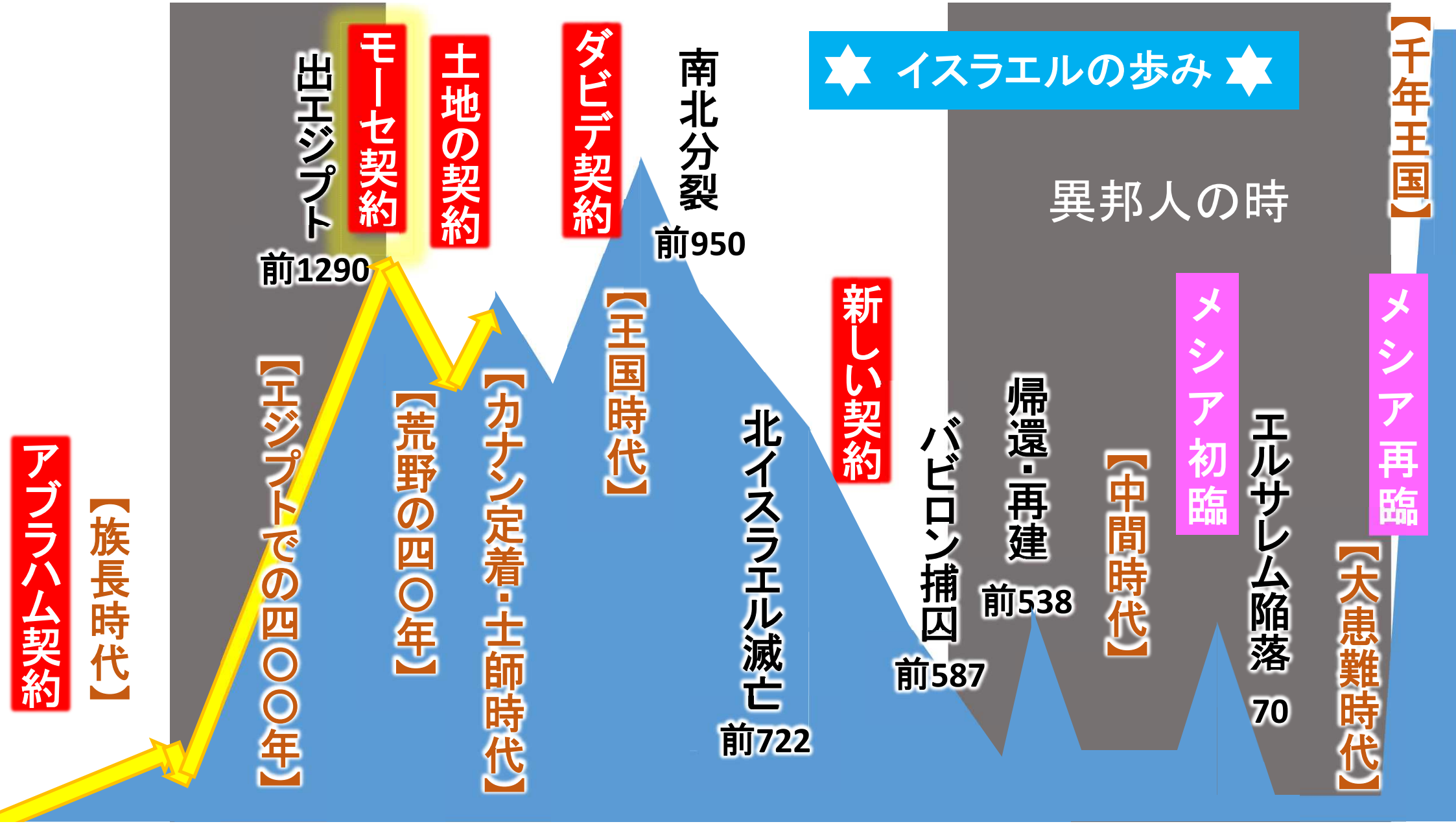
過去

現在

未来



★ イスラエルの歩み ★



アブラハム契約

【族長時代】

【エジプトでの四〇〇年】

【荒野の四〇年】

【カナン定着・士師時代】

【王国時代】

北イスラエル滅亡  
前722

新しい契約

バビロン捕囚  
前587

帰還・再建  
前538

【中間時代】

エルサレム陥落  
70

メシア初臨

【大患難時代】

メシア再臨

【千年王国】

異邦人の時

南北分裂  
前950

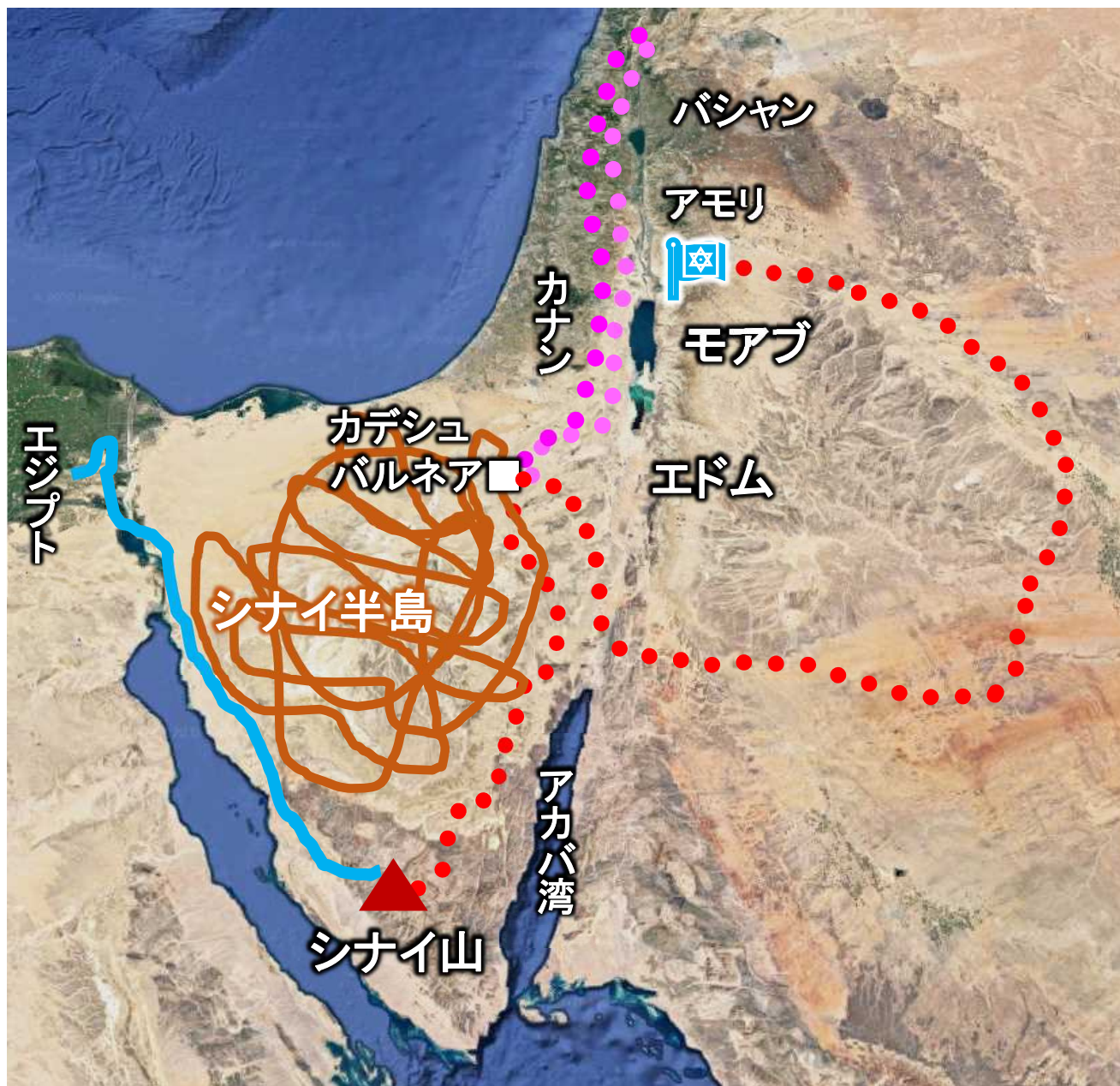
## 【荒野の40年】

### ■カデシュ・バルネア事件

イスラエルは、神に反逆し、その世代の者は、荒野で死に絶えることとなった。

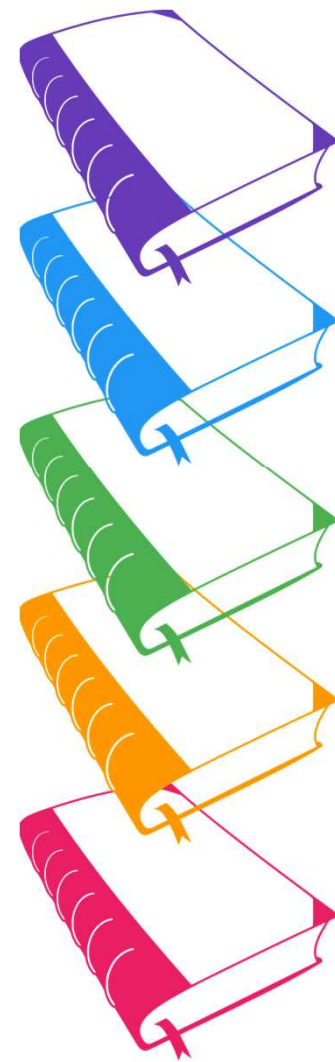
■ エジプトから約束の地まで、歩いて10日ほどの距離をイスラエルは、40年放浪した。

■ ヨルダン川の東まで、イスラエルはやってきた。



## 【モーセ五書の内容】 ← 元来は、全体で一つの書(トーラー)

- 創世記 (「エデン契約」「アダム契約」「ノア契約」「アブラハム契約」)  
...天地創造から、アブラハム⇒イサク⇒ヤコブまで。
- 出エジプト記 (「シナイ契約」・十戒)  
...モーセ誕生。エジプト脱出。律法授与。幕屋の完成。
- レビ記 (三大祭)  
...律法。主に祭儀と清めの条項。民の学びの期間。
- 民数記 (カデシュ・バルネア事件)  
...点呼、出発。民の過ちと神への反抗。40年の放浪へ。
- 申命記 (「土地の約束」)  
...40年の荒野放浪後。新世代への信仰継承。  
モーセの遺言。律法全体の総まとめ。





## 【申命記・アウトライン】

### I. 過去の回顧 1～4章

ホレブ山地からヨルダン川東岸まで 1～4章

### II. 律法の解説 5～26章

① 十戒 5章

② 主要な規定(シエマ6:4～5) 6～11章

③ その他の諸規定 12～26章



### III. 未来の展望 27～30章

① 祝福と呪い 27～28章

② 「土地の契約」 29～30章



### IV. 指導者の交代 31～34章

モーセからヨシュアへ



## 【最高の教師・主イエスに学ぶ律法の適用】

### ①最も重要な律法の掟

「申 6:5 あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、力を尽くして、あなたの神、【主】を愛しなさい。」

### ②二番目に重要な律法の掟

「レビ 19:18 あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい。」

■求められるのは、①神への愛と信頼、②隣人愛。

神への愛と隣人愛に基づいて、律法を学ぼう!!

律法解釈に困ったら  
イエス様に聞こう!!





# I. 義に基づく裁き

申命記22章

エバル山からの景色





## 【むち打ち】 申25:1～3

人と人との間で争いがあり、その人たちが裁判に出頭して、正しいほうを正しいとし、悪いほうを悪いとする判定がなされたとき、もしその悪い者がむち打ちにすべき者なら、さばき人は彼を伏させ、自分の前で、その邪悪さに応じた数だけ打たなければならない。

四十までは彼をむち打ってよいが、それ以上はいけない。それ以上多くむち打たれれば、あなたの同胞はあなたの目の前で卑しめられることになる。

\* 後の時代、規定を越えないよう39回に定められた。

➡39のむちを5回受けたパウロ(Ⅱコリ11:24)



律法の罰則は、私的仕返しを抑える

覚えるべきは、主への信頼

【労働の報酬】 申25:4

脱穀をしている牛に口籠をはめてはならない。

■ 牛の蹄で穀物を踏ませて脱穀をした。

➡ 牛は、粃殻などを食べてよかった。

■ 使徒パウロが、ここを適用( I コリ9:9)。

「私たちのために書かれているのです」

➡ 神の奉仕者には、報酬を得る権利がある。

I コリ9:14 同じように主も、福音を宣べ伝える者が、福音の働きから生活の支えを得るように定めておられます。



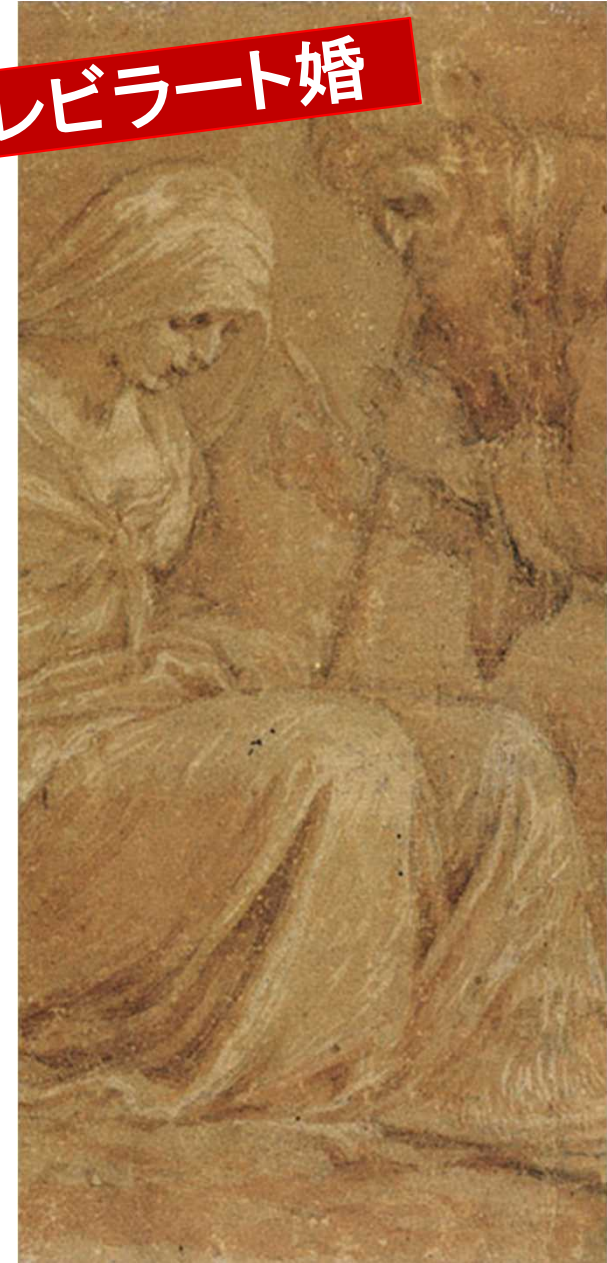
【継承されるべき神の民の系譜】 申25:5～10

- 兄弟の兄が息子を残さず死んだ場合、その妻は弟に嫁ぎ、生まれた子が、長子権を相続した。
- 弟が拒む場合、妻は、長老に訴えることができた。
- 弟が拒み通すなら、一生、汚名が着せられた。  
(※ユダと息子たち、嫁タマルの苦い記憶が...。)

25:9 彼の兄弟の妻は、長老たちの目の前で彼に近寄り、その足から履き物を脱がせ、その顔に唾して、彼に答えて言わなければならない。「兄弟の家を建てない男はこのようにされる。」

25:10 彼の名はイスラエルの中で、「履き物を脱がされた者の家」と呼ばれる。

レビラート婚





## 【妻への禁止令】 申25:11

二人の者が互いに争っているとき、一方の者の妻が近づき、自分の夫を打つ者の手から救い出そうとして手を伸ばし、相手の隠しどころ\*をつかんだなら、その女の手を切り落とさなさい。あわれみをかけてはならない。

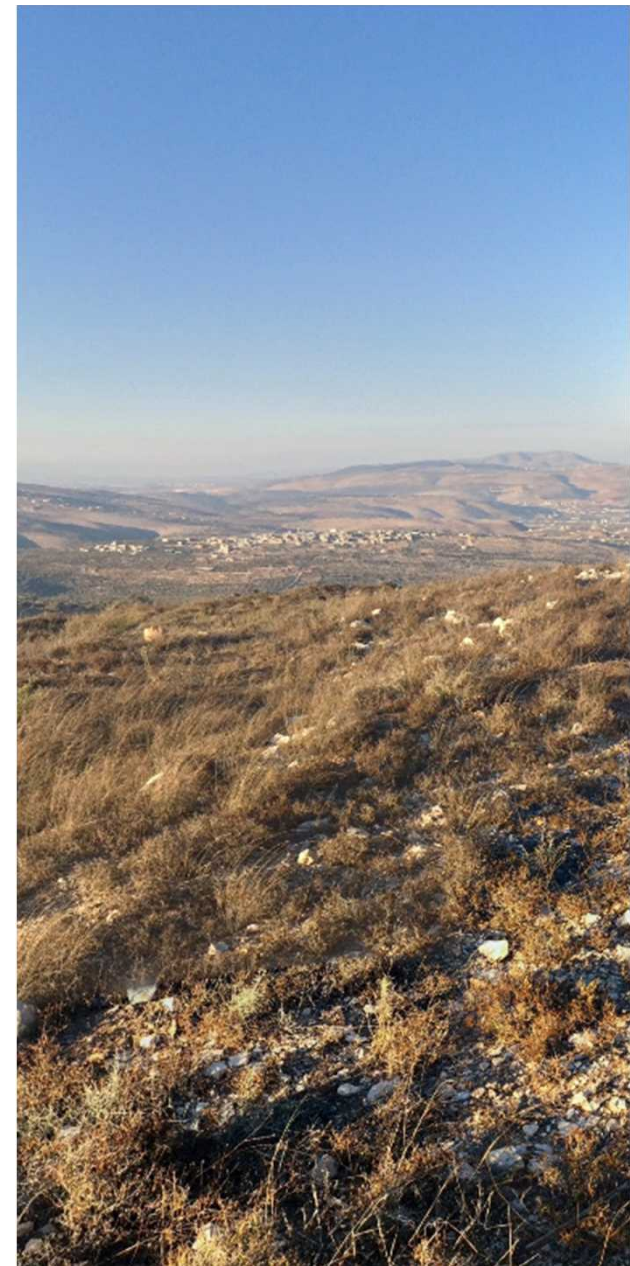
\* 隠しどころ ...男性器。

■ イスラエルは、局部の皮を切り取る割礼を施した。

■ 割礼は、アブラハム契約のしるし。

■ 神が恵みの内に、イスラエルをご自身の民とされ、その子孫に、地を継がせ、メシアを誕生させる。

➡ 人が、神の計画を貶めることはゆるされない!!



## 【不正の禁止】 申25:13～

- 大小異なる重り石、升は、数量をごまかすもの。  
貪欲に基づく不正を、主は厳しく禁じられた。

25:15～16 あなたには、完全で正しい重り石と、完全で正しい升がなければならない。あなたの神、【主】があなたに与えようとしておられるその土地で、あなたの日々が長く続くようにするためである。こう言うのは、このようなことをして不正を行う者すべてを、あなたの神、【主】が忌み嫌われるからである。

- 正直であることは、主への信頼の表明。

➡ 公正を求められるのは、主が、公正な義の方であるから!!



## 【アマレクへの呪い】 申25:17～

- エサウの子孫アマレクは、イスラエルの最初の敵。  
荒野で度々、襲ってきたことがうかがえる。
- アマレクは、卑劣にも、落伍者を狙って襲った。  
5:18 彼らは神を恐れることなく、あなたが疲れて弱っているときに、道であなたに会い、あなたのうしろの落伍者をすべて切り倒したのである。
- 約束の土地を手にした後、神への不遜な反逆者アマレクを滅ぼし尽くすことが命じられた。  
➡ 命令が成し遂げられるのは、  
南王国・ユダのヒゼキヤの時代。







Ⅱ. 恵みの先取り 申命記26章

現在のゲリジム山

## 【初物奉獻の儀式】 申 26:1 ~3

あなたの神、【主】が相続地としてあなたに与えようとしておられる地に入って行き、それを占領し、そこに住むようになったときは、あなたの神、【主】が与えようとしておられる地から収穫する、大地のすべての実りの初物の一部を取って、かごに入れ、あなたの神、【主】が御名を住まわせるために選ばれる場所へ行かなければならない。そして、そのとき任務についている祭司のもとに行って、「今日、あなたの神、【主】に報告いたします。私は【主】が私たちに与えると父祖たちに誓われた地に入りました」と言いなさい。

- 約束の地を征服したら、最初の収穫を定められた聖所でささげるよう命じられた。➡一回きりのささげ物。

26章に、主の名  
ヤハウエが18回!!





【エジプトで寄留者だったイスラエル】 申 26:4

■ 祭司の前で告白すべきことも、具体的に告げられた。  
「私の父はさすらいのアラム人でした\*が、わずかな人数を連れてエジプトに下り、そこに寄留しました。しかしそこで、強くて数の多い、大いなる国民になりました。しかし、エジプト人は私たちを虐待し、苦しめ、私たちに激しい労働を課しました。」

\* 北からの民を示す蔑称？ 流浪の民だったヤコブ。  
■ ヤコブの一族70人から、一つの民族へ成長したが、寄留者として、奴隷としてイスラエルは苦しんでいた。





【今ある恵み、将来の恵み】 申 26:7～9

私たちが私たちの父祖の神、【主】に叫ぶと、【主】は私たちの声を聞き、私たちの苦しみと労苦と虐げられている有様をご覧になりました。

そこで、【主】は力強い御手と伸ばされた御腕によって、恐ろしい力と、しるしと不思議をもって私たちをエジプトから導き出し、この場所に導き入れ、乳と蜜の流れる地、この地を私たちに与えてくださいました。

- これから約束の地に入っていく新世代のイスラエルは、まず、成し遂げられた過去の解放を味わわせ、  
神の将来の約束を、すでに成就したものとして、  
信頼するよう求められた。



## 【喜ぶべき恵み】 申 26:10～11

今ここに私は、【主】よ、あなたが私に与えてくださった大地の実りの初物を持って参りました。」

あなたは、あなたの神、【主】の前にそれを供え、あなたの神、【主】の前で礼拝しなければならない。

あなたの神、【主】があなたとあなたの家に与えられたすべての恵みを、あなたはレビ人および、あなたがたのうちの寄留者とともに喜びなさい。

- すべて神に仕える者たち、寄留者たちと、ともに喜び、恵みを味わうことを、主は求められる。



## 【3年目の十分の一の儀式】 申 26:12～15

■ 3年目は、収穫の十分の一を納め、レビ人、寄留者、孤児、やもめに与え、宣言するよう命じられた。

■ すべて主に従い、儀式的汚れをおかすことも、偶像礼拝に陥ることもなかつこと誓うよう、求められた。

■ そして、祝福を求める祈りが命じられる。

26:15 あなたの聖なる住まいの天から見下ろして、御民イスラエルと、あなたが私たちの父祖たちに誓われたとおり私たちに下さった土地、乳と蜜の流れる地とを祝福してください。」

➡ 約束の主に祝福を求めて祈ることも、神の命令!!





【将来の宣言を、今日のものとして】 申 26:16～19

今日、あなたの神、【主】は、これらの掟と定めを行うように、あなたに命じておられる。あなたは心を尽くし、いのちを尽くして、それを守り行いなさい。あなたは今日、この【主】をあなたの神とし、主の道に歩み、主の掟と命令と定めを守り、御声に聞き従うと誓約した。

今日、【主】は、あなたに約束したとおり、あなたが主のすべての命令を守り主の宝の民となること、あなたを、主が造られたすべての国々の上に高く上げて栄誉と名声と栄えとし、約束のとおり、あなたが、あなたの神、【主】の聖なる民となることを誓約されたのである。

■神は、今日、信頼して歩み出すことを命じられる。





# Ⅲ. 刻むべき命令と掟

申命記27章

エバルからゲリジムを臨む



## 【石に刻まれる神の言葉・律法】 申27:1～3

モーセとイスラエルの長老たちは\*、民にこう命じた。  
「私が今日あなたがたに命じるすべての命令を守りなさい。あなたがたがヨルダン川を渡り、あなたの神、【主】が与えようとしておられる地に入る日には、大きな石を立て、それらに石灰を塗りなさい。\*渡ったら、それらの上に、このみおしえのすべてのことば\*を書き記しなさい。

\* **モーセが三人称**。 ...**①**申1:1。 **②**申5:1も。

■ここから、ひとかたまりの説教集。27～28章

\* 石(ここは複数形)に石灰を塗り、字を刻みやすくした。

\* **申命記に記された掟と定め**





## 【申命記・アウトライン】

### I. 過去の回顧 1～4章

ホレブ山地からヨルダン川東岸まで 1～4章

説教集① 「モーセが告げた」 申1:1

### II. 律法の解説 5～26章

① 十戒 5章

② 主要な規定(シエマ6:4～5) 6～11章

③ その他の諸規定 12～26章

説教集② 「モーセは」 申5:1

### III. 未来の展望 27～30章

① 祝福と呪い 27～28章

② 「土地の契約」 29～30章

説教集③ 「モーセは」 申27:1

### IV. 指導者の交代 31～34章

モーセからヨシュアへ



## 【律法を刻む石を立てる目的】 申27:3～4

それは、あなたの父祖の神、【主】が約束されたとおり、あなたの神、【主】があなたに与えようとしておられる地、**乳と蜜の流れる地**にあなたが入るため\*である。あなたがたがヨルダン川を渡ったら、私が今日あなたがたに命じるこれらの石をエバル山に立て、それに石灰を塗りなさい。

\* 入ることができる(共同訳)、入る時(口語訳)

➡「～書き記しなさい。あなたがたは入るのだ。」

■ 神の目には、約束はすべて実現されている。

私たちの歩みに常に先立ってあるのが、主の恵み。



【】 申27:5～10

■ 自然の石(偶像礼拝を防ぐため)を用いた祭壇を築き、  
全焼と交わりのささげ物を献げるよう、求められた。

27:7 またそこで交わりのいけにえを献げて、それを食べ、  
あなたの神、【主】の前で喜び楽しみなさい。」

■ モーセと祭司たちは、再びイスラエル全体に告げた。

27:9 ~10「イスラエルよ、静まって聞きなさい。今日  
あなたは、あなたの神、【主】の民となった。あなたの神、  
【主】の御声に聞き従い、私が今日あなたに命じる主の  
命令と掟を行いなさい。」



覚えるべきは、  
主への信頼



## 【祝福と呪い・申命記11章の復習】 申11:26

■律法に従えば祝福、他の神を拝むなら呪いがある。

11:29 あなたが入って行って所有しようとしている地に、あなたの神、【主】があなたを導き入れたら、あなたは**ゲリジム山の上には祝福を、エバル山の上にはのろい**を置かなければならない。

■アブラハムが最初に祭壇を築き、レビとシメオンが妹の仕返しに虐殺をした地・シェケム。

➡その南にゲリジム山。北にエバル山がある。

■神は、祝福と呪いを、地形から体験的に学ばせた。

➡その地が祝福となるか呪いとなるかは、民次第!!





An aerial photograph of a mountainous region under a blue sky with scattered clouds. The terrain is arid and brown, with some sparse vegetation. In the foreground, there are terraced fields. In the middle ground, a town is visible. The background shows more mountains. Three labels in Japanese are overlaid on the image: 'ゲリジム山' (Gerizim Mountain) in the upper left, 'シェケム' (Shechem) in the middle right, and 'エバル山' (Ebal Mountain) in the lower center.

ゲリジム山

シェケム

エバル山



【分けて配置された12部族】 申27:11～14

その日モーセは民に命じた。あなたがたがヨルダン川を渡ったとき、次の者たちは、民を祝福するためにゲリジム山に立たなければならない。シメオン、レビ、ユダ、イッサカル、ヨセフ、ベニヤミン。

➡全員ヤコブの正妻、ラケルとレアの子たち

27:13 また次の者たちは、のろいのためにエバル山に立たなければならない。ルベン、ガド、アシェル、ゼブルン、ダン、ナフタリ。

➡ルベン、ゼブルンはレアの子。他は側女の子。  
(※ルベンは、父の側女と寝て、長子権を喪失)

ゲリジム山には祝福

エバル山には呪い





## 【列挙される呪いの掟①】 申27:15～19

「職人の手のわざである、【主】が忌み嫌われる彫像や鑄像を造り、これをひそかに安置する者はのろわれる。」 民はみな答えて、アーメンと言いなさい。

「自分の父や母を軽んじる者はのろわれる。」

民はみな、アーメンと言いなさい。

「隣人との地境を移す者はのろわれる。」

民はみな、アーメンと言いなさい。

「目の見えない人を道に迷わせる者はのろわれる。」  
民はみな、アーメンと言いなさい。

「寄留者、孤児、やもめのさばきを曲げる者はのろわれる。」 民はみな、アーメンと言いなさい。

アーメンと答えつつ  
読んでみよう!!



【列挙される呪いの掟②】 申27:20～26

「父の妻と寝る者は、自分の父の恥をさらすのであるから、のろわれる。」民はみな、アーメンと言いなさい。

「どのような動物であれ、それと寝る者はのろわれる。」

民はみな、アーメンと言いなさい。

「父の娘であれ母の娘であれ、自分の姉妹と寝る者はのろわれる。」民はみな、アーメンと言いなさい。

「自分の妻の母と寝る者はのろわれる。」

民はみな、アーメンと言いなさい。

「ひそかに隣人を打ち殺す者はのろわれる。」

民はみな、アーメンと言いなさい。

「賄賂を受け取り、人を打ち殺して、咎のない者の血を流す者はのろわれる。」民はみな、アーメンと言いなさい。

「このみおしえのことばを守ろうとせず、これを実行しない者はのろわれる。」民はみな、アーメンと言いなさい。



## 【律法の目的を確認しよう】

### ★モーセの律法の七つの特徴★

- ①救いの方法ではない。
- ②旧約聖書の聖徒たちの行動基準。→アメとムチ。
- ③神が聖であることを示す。→神の聖なる性質を教える。
- ④人の罪を示す。→人の罪の現実を突きつける。
- ⑤人にもっと罪をおかさせる力となる。→さらに思い知る。
- ⑥人を信仰へと導く。→メシアを求める思いを抱かせる。
- ⑦今現在は、すでに役目を終えた。

■律法は、私たちの心に潜む罪をざわつかせる。

→罪を思い知らされたなら、憐れみの主を慕い求めるほかない。





## Ⅵ. まとめと適用

今日、主を信頼して  
新たな一歩を踏み出そう

エバルからゲリジムを臨む



【律法は、恵み。くりかえし、確認しよう】

■ 約束の地に入り、最初の収穫物を献げるときのイスラエルへの命令  
申 26:11 あなたの神、【主】があなたとあなたの家に与えられたすべての恵みを、あなたはレビ人および、あなたがたのうちの寄留者とともに喜びなさい。

■ 約束の地に祭壇を築き、ささげ物をするときのイスラエルへの命令  
申 27:7 またそこで交わりのいけにえを献げて、それを食べ、あなたの神、【主】の前で喜び楽しみなさい。

➡ 主の恵みを存分に味わい知ることが、約束に生きる民の重大な使命!!

➡ 神のイスラエルと、主を信じたすべての異邦人に求められていること!!



## 【モーセが語った、将来の約束の恵み】

■ 約束の地を目の前にした新世代のイスラエルに、  
モーセは、土地を占領して後に行うべき、主の命令を告げた。

- ① 祭壇を築き、最初の収穫物をささげ物を献げ、喜ぶこと。
- ② 3年後には、十分の一を献げ、レビ人、寄留者と共に分かち合うこと。
- ③ 大きな石に石灰を塗り、主のみおしえ、律法(申命記)を刻むこと。
- ④ ゲリジム山とエバル山に、十二部族が分かれて立ち、  
神の呪いの宣言をすること。

■ 将来に実現する約束を、まるで今、目の前にあることのように、  
モーセは告げ、民は、耳を傾けた。



【イスラエルが、今日、味わわされた、主の将来の約束】 申26:16～19

今日、あなたの神、【主】は、これらの掟と定めを行うように、あなたに命じておられる。あなたは心を尽くし、いのちを尽くして、それを守り行いなさい。あなたは今日、この【主】をあなたの神とし、主の道に歩み、主の掟と命令と定めを守り、御声に聞き従うと誓約した。

今日、【主】は、あなたに約束したとおり、あなたが主のすべての命令を守り主の宝の民となること、あなたを、主が造られたすべての国々の上に高く上げて栄誉と名声と栄えとし、約束のとおり、あなたが、あなたの神、【主】の聖なる民となることを誓約されたのである。

■ 今日、主はイスラエルが、宝の民であり、主の栄誉と名声と栄えであり、聖なる民であると誓約された。 主の目にはすでに実現していること!!

## 【私たちも、今日、主の将来の約束の恵みを味わおう】

- 主イエスは、信じた者すべてを御許に挙げられる。  
栄光の体、清められた衣が与えられ、御国の共同統治者とされる。  
主の御許で、とこしえの礼拝をささげ、すべての聖徒らと喜び楽しむ。
- 主イエス・キリストは、わたしの罪のために十字架にかけられ、死んで葬られ、復活された。この福音を信じ、今も生きておられる主を信頼したすべての者に、主が約束されたすべては完全に実現される。それは、主の目には、すでに成し遂げられたこと。
- 神の計画を味わい知ろう、さらに学びを深めつつ、主の約束の確かさを、全身全霊で身に染みこませていこう。みおしえが、私たちの力となる。

「天のお父さま。

わたしは、み子イエス・キリストが、

①わたしの罪を贖(あがなう)うために十字架で死に、

②墓に葬(ほうむ)られ、

③三日目に復活したこと、を信じます。

あなたの約束(やくそく)は、あなたの民(たみ)を通(とお)して、

すべて かならず実現(じつげん)されます。

神の国での とほうもない めぐみは、たしかに、私たちのものです。

主への信頼(しんらい)を 深(ふか)めつつ、今日、あなたをたたえ、

よろこびます。祝福(しゅくふく)で 満(み)たし、

それぞれの使命(しめい)に つかわしてください。

主イエス・キリストのみ名によって祈ります。

アーメン」